

# 米倉教公の週間為替市場見通し

7/25 日週号

## 『日米金融政策会合に注目！』

ドル/円予想レンジ 103.40 - 107.90 円

### ■今週の市場動向：今週は底堅い展開で推移

前週のドル/円の週足では、上ヒゲ陽線引けとなった。週明けはトルコのクーデターが未遂に終わったため、リスク回避の円買いが後退したことや、米長期金利上昇で一時 106.26 円まで値を上げた。19日は米住宅関連指数が予想を上回ったことを好感し 106 円台半ばまで上昇した。20日は一部報道で『政府は経済対策で 20 兆円超の規模を視野に入れている』と伝わると、一時 107 円台を回復する場面もあった。21日は株高とともに 107.49 円まで上昇したが、欧州時間序盤で黒田日銀総裁が英 BCC ラジオのインタビューで『ヘリコプターマネー実施について否定的な見解を示すと、一時 105.41 円まで急落した。ただ、BCC はインタビューが以前のものであると明らかにすると、106 円台半ばまで下げ渋る場面も見られたが、戻りの鈍い展開となった。22日は新規手掛かり材料難から 106 円台を挟む展開に終始した。

### ■来週の注目点：日米金融政策会合に注目

まずは中国で開催されている G20 財務相・中銀総裁会議で、英国の EU 離脱問題を含めた世界経済の減速リスクに対して、一定の協調体制が確認できると、リスク回避の円高が抑制されやすい。26-27日の米 FOMC では金融政策の変更はない見込みだが、米国株は史上最高値を連日更新するなど、資産バブルの様相が見え始めた。そのため、過熱リスクに対して FRB が 12 月利上げの地ならしを強化するようなら、リスク選好の流れが一服する。利上げ観測はドルを支援する反面、米国株や原油価格の下落調整となりやすく、リスク回避の円高となる可能性も残る。28-29日の日銀金融政策決定会合では、依然として日銀による追加金融緩和に対する思惑が強い。そのため、追加緩和の見送り、あるいは小出しの追加緩和だった場合は、失望や材料出尽くしから円高・株安の加速を促すリスクをはらんでいる。このところの日経平均株価が短期間に急騰した後だけに、失望売りの幅が予想外に大きくなる可能性もある。来週は日米の金融政策を巡って、値動きの荒い展開となる可能性が高いことから、徹底したリスク管理が重要となる。



### ★先週の気になる出来事

21日にトルコのエルドアン大統領が非常事態宣言をした。早々に S&P はトルコの長期債務格付けを従来よりも 1 段階低いダブル B に引き下げた。外国為替市場では対ドルでリラが過去最安値を更新した。トルコが今後 1 年間に対外債務の 4 割以上を借り換える必要があると同社は分析している。リラ安によって、返済元本や利払いなどが割増しとなる。そのため、今後の借り換え方法や返済方法などが注目される。投資家にとって一番怖い方法とすれば、通貨切り下げによる方法を断行されることである。動向に注目。

### ■テクニカル的な見解

7月19日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+47,545 から+39,353 へと円の買い持ち高は前週から減少し、ほぼ 1 カ月半ぶりの低水準となった。このところの円安進行で、ストップロスによる円の買い持ち高減少につながった可能性が高い。パラボリック (パラメータ：0.08, 0.3) では、買いシグナルが継続しているが、105.38 円を下回ると売転となる。MACD (パラメータ：12, 26, 9) でも、MACD が上昇しているが、やや横向きとなってきた。ストキャス・スロー (パラメータ：14, 3, 3, 20, 80) では、買われ過ぎ域から %K と %D デットクロスし下落基調となってきた。売りシグナルはストキャスのみだが、105.38 円を下回るとパラボリックでも売りシグナルとなる。下値目途は 13 日安値 103.89 円、1 日高値 103.39 円が目途。21 日高値 107.49 円や 6 月 7 日 107.90 円が高値目途

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。